

地域が災害から復興する「力」とは

—輪島市住民復興調査のデータから—

2026

3/23月

13:00~15:00

参加無料



参加申込はこちら ▶

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、令和6年能登半島地震および奥能登豪雨からの復旧・復興が進む中、被災後の暮らしや地域づくりに必要な要因を明らかにし、今後の災害復興と支援のあり方を考えるための知見を得ることを目的として、2025年11月に、輪島市民の皆さま（18歳以上～80歳未満、14,300人）を対象に、アンケート調査を実施しました。

ご回答いただいた方々、調査実施にご尽力いただいた方々に深謝いたします。

本調査の結果をご報告させていただく機会として、2026年3月23日(月)13時から、石川県輪島市内の「NOTOMORI」にて、「地域が災害から復興する「力」とは—輪島市住民復興調査のデータから—」を開催いたします。本報告会では、調査の目的、概要、結果を分かりやすくご紹介するとともに、災害から復興する「力」について考えていく予定です。



報告会概要

summary

会場 NOTOMORIイベントスペース／オンライン配信あり
石川県輪島市三井町洲衛10-11-1

対象 どなたでもご参加いただけます。参加無料です。

定員 会場参加40名程度、オンライン参加200名程度

申込み 右記QRコードからお申し込みください。



プログラム

program

13:00~
開会のごあいさつ 永松 伸吾
防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門長

13:10~
調査の概要・目的 塩崎 由人
防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門 研究員

13:20~
調査の結果 大塚 理加
防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門 研究員

(13:45~ 休憩)

13:50~
ミニトークセッション

- モデレーター
木村 玲欧 兵庫県立大学 環境人間学部 教授
- 登壇者(順不同)
佐藤 慶一 専修大学 ネットワーク情報学部 教授
佃 悠 東北大学大学院工学研究科・工学部 都市・建築学専攻 准教授
高原 耕平 金沢大学 能登里山里海未来創造センター 特任准教授
相田 潤※ 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻 教授
姥浦 道生※ 東北大学大学院工学研究科・工学部 都市・建築学専攻 教授
小山 栄 輪島市三井公民館 館長
辛嶋 友香里 公益社団法人 ピースポート災害支援センター ※:オンライン参加

14:50~
閉会のごあいさつ 進藤 和澄 防災科学技術研究所 理事

司会・進行 李 泰榮
防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門 主任研究員